

JMS (Japan Melanoma Study: 皮膚悪性黒色腫の臨床統計調査) について

筑波大学附属病院皮膚科では標題の臨床研究を実施しております。概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

皮膚悪性黒色腫は欧米に比べて本邦での発生数は少なく、単一施設での症例集積が困難な腫瘍の一つである。従って、多施設の症例を集積してその発生状況の傾向や、現在行われている検査や治療の妥当性について検討する必要がある。皮膚悪性黒色腫の症例数、新規発症数、発症年齢など基本的臨床統計の把握し、累積データから、病型の変動、検査法の使用頻度や精度の推定、治療成績の推移、生存率などの予後調査を行う。

② 研究対象者

2006年1月1日から2025年12月31日までに当院で悪性黒色腫と診断された患者

③ 研究期間: 倫理審査委員会承認後～2026年12月31日

④ 研究の方法

研究①全国定点調査では当委員会によって作成された調査用紙を本研究の趣旨に賛同し、本研究計画に協力していただける全国の約100施設に送付する。各施設では調査項目を記入したうえで、当研究会事務局に送付する。事務局は各施設から送付された調査用紙を収集し、一括して登録する。

研究②全国追跡調査では、本研究の分担研究施設で倫理委員会等で本研究計画を承認していただける28施設の担当者が当委員会によって作成された登録項目を列挙したWeb上の登録専用ホームページにアクセスし(大学病院医療情報ネットワーク研究センターのシステム)、調査項目を入力する。過去の登録症例は死亡まで追跡調査を行う。

⑤ 試料・情報の項目

診療記録(年齢、性別、腫瘍の状態、治療経過、予後など)

⑥ 情報の管理について責任を有する者: 愛媛大学皮膚科 藤澤 康弘

⑦ 研究機関名および研究責任者名: 共同研究説数: 28施設(別紙記載)

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

(記載例) 患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

所属・担当者名: 皮膚科 石月 翔一郎

電話: 029-853-3128 (平日10～17時)

研究協力施設一覧

愛媛大学	皮膚科	藤澤 康弘
旭川医科大学	皮膚科	松谷 泰祐
大阪市立大学	皮膚科	小澤 俊幸
岡山大学	皮膚科	立花 宏太
鹿児島大学	皮膚科	藤井 一恭
九州大学	皮膚科	大野 文崇
京都府立医科大学	皮膚科	小森 敏史
岐阜大学	皮膚科	岡村 直之
熊本大学	皮膚科	青井 淳
神戸大学	皮膚科	中野 英司
国立がんセンター中央病院	皮膚科	並川 健二郎
埼玉医科大学	皮膚科	柳澤 宏人
埼玉医科大学国際医療センター	皮膚腫瘍科	中村 泰大
埼玉県立がんセンター	皮膚科	石川 雅士
札幌医科大学	皮膚科	加藤 潤史
産業医科大学	皮膚科	佐々木 奈津子
県立静岡がんセンター	皮膚科	吉川 周佐
信州大学	皮膚科	皆川 茜
筑波大学	皮膚科	乃村 俊史
東京大学	皮膚科	宮川 卓也
東北大学	皮膚科	藤村 卓
富山県立中央病院	皮膚科	八田 尚人
名古屋大学	皮膚科	横田 憲二
新潟県立がんセンター	皮膚科	竹之内 辰也
日本医科大学	皮膚科	帆足 俊彦
浜松医科大学	皮膚科	島内 隆寿
福岡大学	皮膚科	筒井 啓太
北海道大学	形成外科	村尾 尚規